

三信電気はソリューション事業を強化する。新たな収益源の確保を目指し、グループ企業および他社との連携によるクラウドサービスメニューを拡大。グループでの横断的な顧客開拓に努めることにより組み込みシステムを拡販していく。

三信電気は推進中の中期経営計画「V70」で、2020年度にROE（株主資本利益率）5%、連結経常利益30億円の達成を目標としていたが、為替の影響などで初年度の業績が低迷したことを

受け、17年度初に同計画の見直しおよび追加施策を行った。主力2事業のなかで、デバイス事業は事業ポートフォリオの改革と既存ビジネスの集積性改善を強化している。一方ソリューション事業については、これまで同事業を支えてきた消防・救急無線のデジタル化特需が終了したため、新たな収益源を確保して中長期的な成長基盤を構築するための施策を強化している。

具体的な取り組みとして展開しているクラウド

サービスのメニュー拡大では、ハウジングサービスのほか、クラウドサービスであるIaaSやPaaS、SaaSなどのサービスメニュー拡充を推進。グループ企業の三信データセンターの活用や他社サービスとの連携、および有資格者の増強、そしてアライアンス強化による技術集団としての価値向上を狙う。

ビジネスユニット（BU）間のシナジー最大化に関しては、各BUが持つ顧客基盤や商材・サービスといった強みを生か

業との横断的なプロジェクト推進や仕入れ先との連携強化による質および量の拡大を進めていく。

フロントケミカル

ETFEシート拡販

メッシュクロスなど提案

フロントケミカル（大阪北區、片山利孝社長）は、エチレンテトラフルオロエチレン（ETFE）シート製品の事業展

開を強化する。主力であるフッ素樹脂製品の拡販に向けたもので、繊維状のETFEフィラメントによる広幅織物や、メッ

シユクロスを提案する。従来主流のフィルム用途のほか、耐熱性・耐薬品性などの素材特性を強みに、食品加工からメッ

キ工程での倉庫バスケケット用途などに向けて、採用実績を積み上げている。

フロントケミカルは、フ

ッ素樹脂製品を中心に取り扱う専門商社。実験・研究用機器なども扱っており、幅広い製品群を揃えている。また協力工場とのネットワークを生かし、幅広い母材にフッ素樹脂コーティングを行う特注加工も手がけている。

全社売上高の7割を商社機能が担っているが、協力工場の機能を生かした事業のテコ入れを推進している。なかでも知見を持つフッ素樹脂製品と実験用機器の領域で新商材開発を進め、独自商材による提案力強化を図っている。

同社は展開するフッ素樹脂製品の拡販に向け、ETFE系製品の提案を進める。主力としているのが、繊維状のETFEをクロスさせた織物シート。規格幅1020mm以下の広幅製品で、フッ素樹脂の素材特性を生かし、マイナスイオン・180度Cと広範な温度帯で使用可能な耐熱性を誇る。

して現場に落とし込むブレイヤーが必要で状況とになっている。

カタリアヘルスが開発

用者はボイス（音声認識）を重ねることによってまたはタッチスクリーン利用者のデータを取得・蓄積。カタリアヘルスのユニケーションを図る。独自AIが患者の治療法

対話

携し、おけ、提供、供を

分析受託サービス拡大 デファレント

化学、食品など幅広く 短期間で結果提供

商社のデファレントは、事業柱の一つである分析受託サービスを積極的に拡大する。化学分析、食品関連の分析、化粧品分析の3カテゴリーに対応し、その他あらゆる分野の分析にも応じる。国内外の提携ラボから最適

のラボを選び競争力のある価格でISO/IEC 17025認定検査機関の分析を提供する。面倒な手続きも同社が対応するため手間を省く短期間で結果が得られる。このほど自動発注システムも導入した。同社が顧客

から一括で請け負うことによるメリットもアピールしながら、3年後に同事業の売り上げ倍増を目指すという。

デファレントは中古パソコン・パーツの卸売・小売の販売・輸出入事業、分析受託サービス事

業、レアメタル・非鉄金属・貴金属リサイクル事業の3事業を柱としている。分析受託サービス事業では顧客に合わせて検査機関への分析依頼を行う。7年前に立ち上げ、500社以上の顧客から依頼を受けている。

人件費の安い海外の機関も含め多数の機関と提携しており、競争力のある価格でサービスを提供できるため経費削減に貢献する。サンプルを受けから8営業日で結果を届けることができる。検査機関との面倒なやりとりや外貨管理などもすべて同社が行う。顧客に規制の変更など最新情報を提供することもでき、どの分析をしたら良いか分からないといった顧客の相談にもアドバイスできる。

化学分析におけるROHS分析では1回で100検体以上の分析を受注できる。毎月リピートで10検体以上の分析を受注中。ROHS2.0分析、フタル酸6項目セット、ハロゲン2項目セット、同4項目セットなど幅広く対応。リンの分析なども対応する。PCB分析（廃棄物処理の際の含有量測定）なども行う。食品関連の分析ではエームス試験、化粧品分析では鉛含有量の測定、化粧品中の微生物実験などの実

績がある。

このほどパソコン、タブレット、スマートフォンから簡単に操作できる自動発注システム「化学分析オーダー管理システム」を導入した。

企業によっては現場でとに異なる業者に分析依頼をしているケースもみられるが、同社に「一括で発注することによるメリットをアピールする。分析受託サービスは同社の森下営業所（電話03-6666-9268）が窓口となる。

製オに型1て多応かんタ粗リ口見スエベタれ薬

商社 物流